

風致地区内行為許可申請に必要な図書

風致地区内行為の許可を受けようとする場合は、以下の書類及び図面が **2部** 必要です。

1. 申請書

- ・風致地区内行為（行為変更）許可申請書（第1号様式）
- ・歴史的風土保存区域内行為（行為変更）届出書（歴史的風土保存区域内の場合）
- ・近郊緑地保全区域内行為（行為変更）届出書（近郊緑地保全区域内の場合）

2. 計画書

行為の種類に応じて、次に掲げる計画書

- ① 建築物の建築 ……………（第2号様式）建築物計画書
- ② 工作物の設置 ……………（第3号様式）工作物計画書
- ③ 建築物等の色彩の変更 ……………（第4号様式）建築物その他の工作物の色彩の変更計画書
- ④ 宅地の造成等（土地の形質の変更） ……………（第5号様式）土地の形質の変更計画書
- ⑤ 水面の埋立て ……………（第6号様式）水面埋立て（干拓）計画書
- ⑥ 木竹の伐採 ……………（第7号様式）木竹伐採計画書
- ⑦ 土石の類の採取 ……………（第8号様式）土石類採取計画書
- ⑧ 物件のたい積 ……………（第9号様式）屋外における物件のたい積計画書

3. 図面

行為の種類に応じて、次に掲げる図書等

| 行為の区分 \ 図面の種類 | 案内図 | 配置図 | 平面図 | 立面図 | 構造図 | 植栽計画図 | 土地断面図 | 現況平面図 | 計画平面図 |
|---------------|-----|-----|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|
| 建築物の建築 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | |
| 工作物の設置 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | | |
| 建築物等の色彩の変更 | ○ | | | ○ | | | | | |
| 土地の形質の変更 | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 水面の埋立て又は干拓 | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 木竹の伐採 | ○ | | | | | ○ | | ○ | ○ |
| 土石の類の採取 | ○ | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 物件の堆積 | ○ | | | | | | ○ | ○ | ○ |

4. 委任状

申請手続きを代理人が行う場合に必要です。

5. 土地使用承諾書

行為地が自己所有地の場合は、必要ありません。

6. その他

必要に応じて、丈量図、公図の写し、土地登記簿謄本、構造計算書、姿図、現況写真等

| 図面の種類 | 図面等に明示しなければならない事項 |
|-------|---|
| 案内図 | 方位、施行箇所、道路及び目標となる土地、建物等（駅、停車場、公共建物、河川、湖沼等） |
| 配置図 | 縮尺（600分の1以上）、方位、敷地の境界線、申請建物又は工作物の位置、（増築、改築、移転の場合）敷地内の既存の建築物その他主要工作物、建築物の壁面後退距離（「有効」の明示をお願いします。）、敷地に接する道路の位置及び幅員、敷地の求積根拠 |
| 平面図 | 縮尺（200分の1以上）、各階平面図、建築面積及び床面積の求積根拠 |
| 立面図 | 縮尺（200分の1以上）、主要部分の材料の種類、仕上げ方法及び色彩（4面を原則とし、外壁・屋根の部分を着色すること）、最高の高さ等。 |
| 構造図 | 縮尺、建築物の場合は、矩計図（構造が複雑でないものは、断面図）。工作物の設置の場合は、断面図、配筋図等。 |
| 植栽計画図 | 縮尺（600分の1以上）、方位、敷地境界線並びに既存樹木及び植樹木の位置、樹種、樹高等。木竹の伐採を行なうときは、その位置、樹種、樹高等。 |
| 土地断面図 | 縮尺（600分の1以上）（縦横2面以上）、敷地の境界線、土地の形質変更を行う場合は、盛土及び切土のり高（現況及び行為後を対比できるようにし、盛土部分を赤色、切土部分を黄色に着色して下さい。）、土量計算根拠 |
| 現況平面図 | 縮尺（600分の1以上）、方位、敷地の境界線、必要に応じて等高線、事業区域の求積根拠等。 |
| 計画平面図 | 縮尺（600分の1以上）、方位、敷地の境界線、盛土切土の行為面積（盛土部分を赤色、切土部分を黄色で着色して下さい。） |

・申請に当たっての留意事項

建築物の建築、工作物の設置に際しては、建築確認申請の前に風致地区内行為の許可を受けてください。

風致地区内行為許可申請の標準審査期間は、土日祝日を除く14日間です。

風致地区内行為行為許可申請書・計画書等の書き方について

1. 風致地区内行為許可申請書

【行為地】 行為地の登記簿上の地番（住居表示番号ではありません）を記入する。

2. 建築物計画書

【敷地の地目】 土地登記簿謄本上の地目に○して下さい。

【敷地の所有別】 借地の場合、土地の使用承諾等を添付して下さい。

【土地の形質の変更の有無】 高さが 1.5m を超えるのりを生じる切土、盛土。もしくは行為面積が 60 m²を超える切土、盛土がある場合、**有**に○して下さい。

【建築物その他の工作物の色彩の変更の有無】 増築行為の際、既存建築物の外壁等の色彩変更（塗り替えで色彩を変更する場合）が有る場合のみ、**有**に○して下さい。

【工事種別】 該当する行為に○して下さい。

【工種種別】 該当する行為に○して下さい。

【仮設の場合の設置期間】 「○月○日まで」「○○工事の施工期間内」等を記入する。

仮設物の申請以外の時は記入しないで下さい。

【既存建築物の高さ、床面積及び構造】 増築の場合、既存建築物の高さ、床面積、構造（木造、鉄筋コンクリート造、鉄骨造等）を記入して下さい。

【用途】 「一戸建ての住宅」「共同住宅」「店舗」等を記入して下さい。

【建築物が地面と接する位置の高低差】 申請建築物が周囲の地面と接する位置の高低差記入して下さい。高低差が無い場合は±0と記入して下さい。

【構造】

- ・構造 「木造」「鉄筋コンクリート造」「鉄骨造」等を記入して下さい。
- ・高さ 建築物の最高の高さを記入して下さい。
- ・階数 階数を記入して下さい。

【敷地面積】 行為地の敷地面積を記入して下さい。

【建築面積】

- ・今回申請建築面積 行為申請部分の建築面積を記入して下さい。
- ・既存建築面積 増築の場合、既存の建築面積を記入して下さい。**新築は記入不要**です。

【合計床面積】 増築の場合は、既存床面積を含めて記入して下さい。

【建築面積／敷地面積】 建ぺい率(%)を小数点以下第2位まで記入する。

【壁面から境界までの距離】

- ・道路に接する部分 道路境界から建物の外壁面（バルコニー、出窓等も含む）までの有効寸法（最短距離）を記入して下さい。
- ・その他の部分 隣接地の境界から建物の外壁面（バルコニー、出窓等も含む）までの有効寸法（最短距離）を記入して下さい。

【建築物の意匠】

- ・屋根 材質等の欄には、屋根材を具体的（例：瓦、銅板等）に記入して下さい。
色彩の欄に屋根の色（例：茶色）（ ）内にマンセル値（例：5YR2/1）を記入して下さい。

- ・外壁 仕上げの欄には、外壁の仕上げ材を具体的（例：モルタル吹付け、サイディングボード）に記入して下さい。色彩の欄には外壁材の色（例：ベージュ）を記入し、()内にマンセル値（例：5Y9/1）を記入して下さい。
- ・その他 外壁、屋根材以外で特に外観上、大きい面で出てくる物（例：玄関ドア）があれば、上記の記入方法と同様に記入して下さい。

【敷地内の木竹の有無及びその処理方法】 「クロマツ H=4.0m,3本」、
「サクラ H2.0m,1本敷地内に移植」、「無し、植栽計画有り」等、具体的に記入する。

3. 工作物計画書

【敷地の地目】 建築物計画書の記入例による。

【敷地の形状】 計画地の敷地形状の該当する箇所に○して下さい。

【敷地の所有別】 建築物計画書の記入例による。

【現況の概要】 「平坦地」、「北側山林傾斜約45度」、「東側宅地高低差+0.5m」、「西側空地高低さ±0」、「南側公道」等、具体的に記入して下さい。

【敷地面積】 計画地の敷地面積を記入して下さい。

【用途】 「防護ネット」、「擁壁」、「鉄塔」等を記入して下さい。

【工事種別】 該当する箇所に○して下さい。

【工種種別】 該当する箇所に○して下さい。

【構造】 「自然石（雑割石）石積擁壁」、「RC構造」、「鉄骨造」、「ポケット式ロックネット」等を記入して下さい。

【規模】 工作物の高さ（垂直高）、延長、巾、水平投影面積等を記入する。

【色彩】 工作物の色（例：茶）を記入し、()内にマンセル値（例：10YR2/1）を記入して下さい。

【仮設物の設置期間】 建築物計画書の記入例による。

【跡地の処理方法】 具体的に利用方法が有る場合のみ記入して下さい。

【敷地内の木竹の有無及びその処理方法】 建築物計画書の記入例による。

4. 建築物その他の工作物の色彩の変更計画書

【色彩を変更する建築物その他の工作物の種類】 当該建築物又は工作物を具体的（例：一戸建ての住宅、擁壁、鉄塔等）に記入して下さい。

【色彩を変更する建築物その他の工作物の規模及び構造】 当該物件が建築物の場合は、床面積及び高さ、構造（例：木造）を記入し、工作物の場合は、高さ及び構造（例：RC造・鉄骨造）を記入して下さい。

【色彩を変更する部分】 「外壁」、「屋根」、「鉄塔」等を記入して下さい。

・高さ 色彩を変更する部分の高さを記入して下さい。

・面積 色彩を変更する部分の見付け面積を記入して下さい。

【現在の色彩】 色彩を変更する部分の現況の色彩（例：ベージュ、白）を記入し、()内にマンセル値を記入して下さい。（日本塗料工業会の色見本帳などにより、近似値を記入して下さい。）

【 変更後の色彩 】 変更予定の色彩を記入し、()内にマンセル値を記入して下さい。

【 変更するために用いる材料又は塗料の種類 】 使用する材料（例：サディングボード、タイル、瓦）又は塗料（例：吹付けタイル、油性ペイント）を具体的に記入して下さい。

5. 土地形質変更計画書

【 敷地の地目 】 建築物計画書の記入例による。

【 敷地の所有別 】 建築物計画書の記入例による。

【 現況の概要 】 建築物計画書の記入例による。

【 用途 】 「宅地造成」、「防災工事」等を記入して下さい。

【 敷地面積 】 面積を記入して下さい。

【 行為面積 】 行為（切土、盛土）部分の水平投影面積を記入する。

【 緑地率 】 行為後、敷地内に存在する緑地の割合を記入する。

- ・ 木竹を保全する面積 開発区域内において、行為後、残る緑地の面積を記入する。
- ・ 適切な植栽を行う面積 今回の行為で、新たに植栽を行う面積を記入する。

【 行為内容 】

- ・ 切土量 今回の行為において、発生する切土の量を記入して下さい。
- ・ 盛土量 今回の行為において、開発区域内で行う盛土量を記入して下さい。
- ・ 総土工量 切土量+盛土量を記入して下さい。

【 生ずるのり面の最高高 】

- ・ 切土のり高 今回の行為において、切土の最高高さを記入して下さい。
- ・ 盛土のり高 今回の行為において、盛土の最高高さを記入して下さい。

【 残土処理の方法及び搬出先 】 切土により、残土が発生する場合、「場外搬出処理」又は「場内処理」を記入し、場外搬出処理の場合搬出先が決まっていれば記入して下さい。

【 跡地の処理方法 】 「宅地」、「畑」、「コンクリート舗装」等を記入し、法面についても「芝張」、「自然石雑割石積」、「放置」等具体的に記入する。

【 木竹の有無及びその処理方法 】 建築物計画書の記入例による。

6. 木竹伐採計画書

【 行為地の地目 】 建築物計画書の記入例による。

【 敷地の所有別 】 建築物計画書の記入例による。

【 現況の概要 】 計画地が**山林の場合**のみ記入して下さい。

- ・ 林種 「人工林」、「天然林」、「竹林」、「伐採跡地」等を記入する。
- ・ 林相 「針葉樹林」（針葉樹が75%以上の山林）、「広葉樹林」（広葉樹が75%以上の山林）、「竹林」等を記入する。
- ・ 樹齢林齢 樹齢及び林齢を記入して下さい。
- ・ 疎密度 「疎」、「密」を記入して下さい。
- ・ 隣接地の現況 「山林」、「畑」等具体的に記入して下さい。

【 行為の目的 】 「建築物の建築の支障となるため」、「宅地造成工事の支障となるため」等、具体的に記入する。

- 【伐採面積】 今回の伐採する面積を記入して下さい。
- 【伐採方法】 「皆伐」、「択伐」、「間伐」、「除伐」等を記入して下さい。
- 【択伐率】 伐採区域における総緑地面積に対する択伐量の割合(%)を小数点以下第2位まで記入する。
- 【伐採樹種】 伐採する樹種を記入して下さい。
- 【伐採木及び主要伐採林の形質】
- ・ 樹 齢 主要伐採木の樹齢を記入して下さい。
 - ・ 高 樹 主要伐採木の高さを記入して下さい。
 - ・ 幹の周囲 1.5mの高さの幹周長を記入して下さい。
 - ・ 数 量 伐採する樹木の本数を記入して下さい。
- 【跡地の処理方法】 「建築物の敷地」、「通路の設置」、「植栽」、「放置」等を記入する。

7. 屋外における物件のたい積計画書

- 【敷地の地目】 建築物計画書の記入例による。
- 【敷地の形状】 工作物計画書の記入例による。
- 【敷地の所有別】 建築物計画書の記入例による。
- 【敷地内の建築物の有無】 建築物の有無について該当する箇所に○して下さい。また、有の場合建物の延べ床面積を記載して下さい。
- 【現況の概要】 工作物計画書の記入例による。
- 【敷地の面積】 該当地の敷地面積を記入して下さい。
- 【たい積の目的】 たい積行為の目的を具体的(例：工事用資材置場)に記入して下さい。
- 【たい積の種類】 たい積物の種類を○して下さい。
- 【たい積の具体的内容】 たい積物の具体内容（木材、砕石等）を記入して下さい。
- ・ 容器の使用の有無 該当するほうに○して下さい。
 - ・ 色彩（土石を除く） たい積物の色彩を記入して下さい。
- 【たい積の面積】 たい積物の水平投影面積を記入して下さい。
- 【たい積の最高高】 たい積の最高高さを記入下さい。
- 【遮へい物の有無】 該当するものに○して下さい。
- 【敷地内の木竹の有無及びその処理方法】 建築物計画書の記入例による。

『委任状』

【委任文例】 私は、○○○○○○○○を代理人と定め、下記の土地における（下記の建築物について）風致地区内行為（及び歴史的風土保存区域内行為）に関する法令又は条例に規定する許可申請を委任する。

- ◎ 風致地区内行為許可申請は、風致地区条例に基づくものです。建築基準法に基づくものではありませんので、委任状を作成される際は、ご注意下さい。
- ◎ 委任状には、印紙を貼る必要はありません。